



たいけん がっく 待賢学区



学区の概要

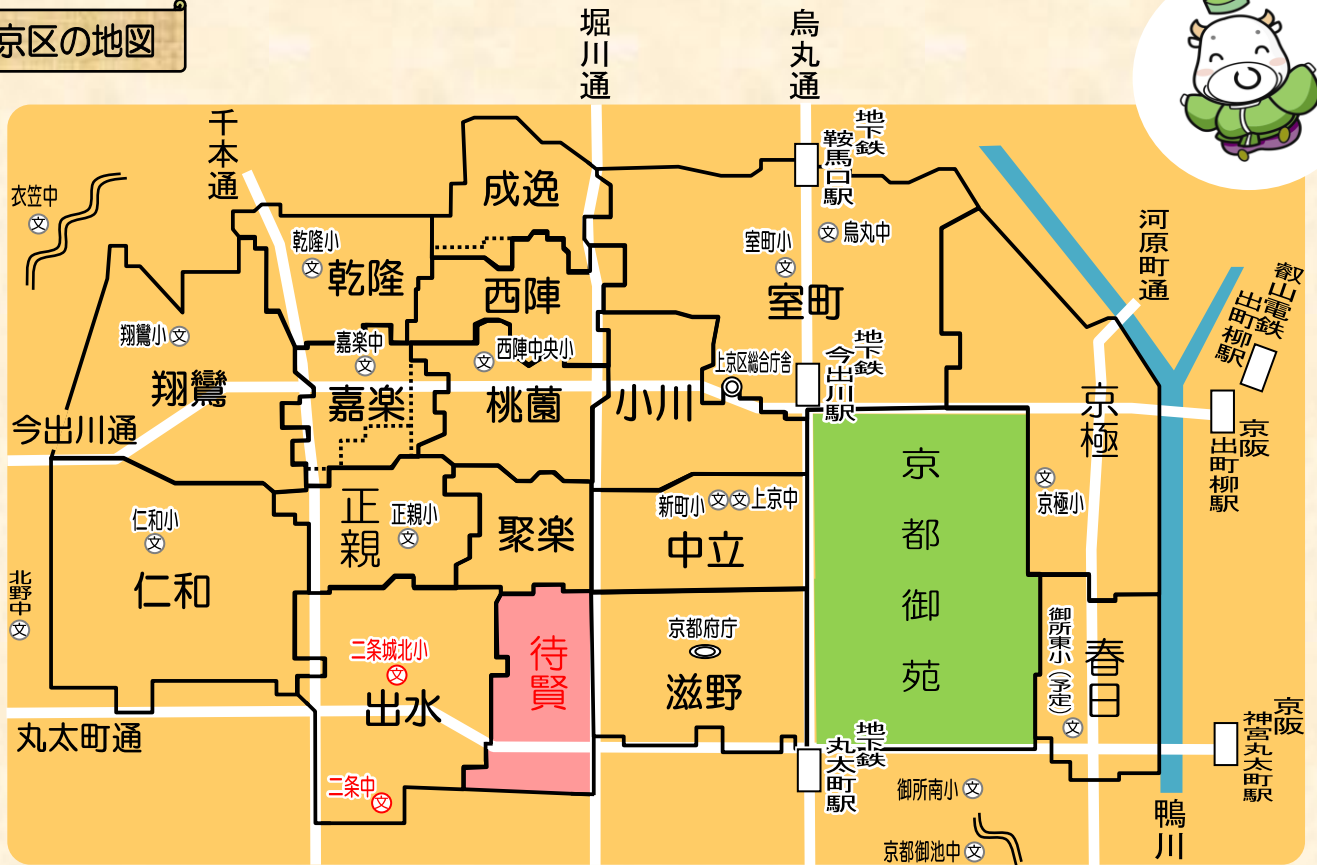
待賢学区は、東は堀川通、西は日暮通、北は下長者町通、南は竹屋町通に囲まれた地域。ここは延暦13年（794）に平安京ができた頃、大内裏の東側に位置し、その門の一つ待賢門が現在の榎木町通大宮あたりにあったところから、「待賢」と称されるようになりました。当時は、検非違使庁などがある官庁の町でしたが、平安時代から鎌倉時代に移る頃、平治元年（1159）の平治の乱で戦場となったり、安貞元年（1227）の火災で少しずつ衰退していきました。室町時代の初め、明德2年（1391）には明德の乱が起こり、あたりは戦場となったりしました。

豊臣秀吉が天下を統一すると、天正14年（1586）に待賢学区の北側の地に聚楽第を建て、その周囲には武将の家々が次々と建ち並ぶようになりました。やがて秀吉に代わり、徳川家康が天下をとり江戸幕府を開くと、慶長6年（1601）待賢小学校あたりに京都所司代を作り、慶長8年には上洛時の将軍の居城として二条城を造営。その周囲に町家が建てられ、町が形成されていきました。慶応3年（1867）将軍慶喜が二条城で大政奉還をして江戸幕府が倒れ、それに伴って京都所司代は廃止されました。

明治3年（1870）その屋敷跡に京都府中学校が建てられましたが、ほどなく移転し、養蚕場となりました。明治39年（1906）その地に待賢小学校が大黒町から移ってきました。堀川三条から堀川中立売までチンチン電車が走り、明治45年には烏丸丸太町から千本丸太町まで市電が走るようになり、丸太町通は拡張され、校舎も南に移転することを余儀なくされました。大正中期になると西堀川通に「堀川京極」としての商店街を形成。しかし、昭和20年（1945）空襲に備えて堀川通の戦時建物強制疎開がおこなわれ「堀川京極」は撤去。そこに幅50メートルの堀川通が出現したのです。

自治会に加入していないマンション等にお住まいの世帯に、イベントに参加して頂くことで地域、人との交流を深めてもらうことを目的としています。同志社大学の学生さん達に協力してもらい、特に子供に喜んでもらえる体験型イベントを企画し定期的を開催しています。特にキャンドルナイトは目玉イベントで毎年たくさんの方に見に来て頂いています。

上京区の地図



学区を代表する団体

待賢住民福祉連合協議会

学区の主な行事

- ふれあいカフェ（月1回）
- ひな祭や端午の節句 地藏盆などの伝統行事
- 待賢カーニバル（10月）
- キャンドルナイト（12月）

（発行）上京区役所 地域力推進室 まちづくり推進担当
電話 441-5040